



2013年6月期 第2四半期決算説明会資料

株式会社ブロードバンドタワー

2013年6月期 第2四半期ハイライト

業績



売上高 **11,211 百万円** (前期比 +3302百万円、+41.8%)
(※当初公表値：10,100百万円)

営業利益 **543 百万円** (前期比 +229百万円、+73.3%)
(※当初公表値：100百万円)

ブランチ・アウト社の連結子会社により、大幅増収増益

配当



中間配当金：**250円** (当初予想：0円)

期末配当金：**500円** (当初予想：500円)

年間配当金：**750円** (当初予想：500円)

2013年6月期 第2四半期トピックス

ビッグデータビジネスの機運に 대응するべくビッグデータビジネス・
コンソーシアム設立 ～産・官・学が連携して新産業を創出～



株式会社ブランチ・アウトが
新たな連結子会社へ



米国ハワイ州のデータセンター事業者であるDR Fortress, LLCと
戦略的事業提携契約を締結



京都大学と衛星情報ビッグデータ活用等に関する共同研究契約を締結



2013年6月期 第2四半期累計業績概況（連結）

(単位：百万円)	2012年6月期 第2四半期	2013年6月期 第2四半期	前期比	
			金額	増減率
売上高	7,909	11,211	3,302	41.8%
売上原価	6,852	9,359	2,507	36.6%
売上総利益	1,057	1,852	795	75.2%
(利益率)	13.4%	16.5%		
販管費	743	1,309	565	76.1%
営業利益	313	543	229	73.3%
(利益率)	4.0%	4.8%		
経常利益	304	416	111	36.6%
(利益率)	3.9%	3.7%		
四半期純利益	116	175	58	50.3%
(利益率)	1.5%	1.6%		

連結子会社BBFの成長、ブランチ・アウトの連結子会社化

- ①BBF、ブランチ・アウトの売上高拡大
- ②プロダクトサービスの売上高増加

- ①BBF、ブランチ・アウトの売上高拡大
- ②ブランチ・アウトの完全子会社化に伴うのれん代償却
- ③本社移転に伴う費用計上（賃借料、減価償却費等）

ブランチ・アウトの完全子会社化に伴うアドバイザー手数料、借入金の利払い等

2013年6月期 第2四半期要約BS・CF (連結)

(単位：百万円)	2012/6	2012/12		2012/6	2012/12
流動資産合計	4,813	7,896	流動負債合計	2,228	4,614
現金及び預金	2,650	3,776	買掛金	1,366	3,052
受取手形・売掛金	1,573	3,337	1年内長期借入金	405	602
商品及び製品	306	492	未払法人税	16	235
繰延税金資産	58	80	その他	441	724
その他	226	213	固定負債合計	616	2,159
貸倒引当金	△2	△3	長期借入金	—	1,500
固定資産合計	3,461	4,506	その他	616	659
有形固定資産	1,665	1,595	負債合計	2,845	6,774
無形固定資産	162	1,240	株主資本合計	5,100	5,232
投資その他の資産	1,633	1,670	その他包括利益 累計額	△4	1
			新株予約権	18	25
			少数株主持分	314	369
			純資産合計	5,429	5,629
資産合計	8,275	12,403	負債純資産合計	8,275	12,403

(単位：百万円)	2012年6月期 第2四半期	2013年6月期 第2四半期
営業活動CF	254	970
投資活動CF	△358	△697
財務活動CF	△250	807
現金及び現金同等 物の期末残高	2,694	3,731

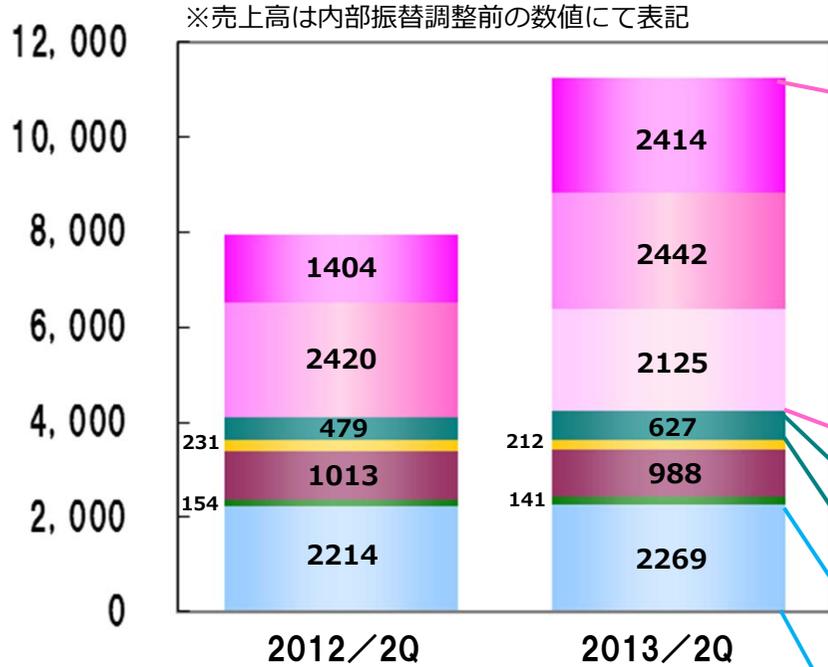
【キャッシュ・フロー内訳】

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
 - 税金等調整前四半期純利益 408百万円
 - 減価償却費 169百万円
 - 仕入債務の増加 926百万円
 - 売上債権の増加 △809百万円
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
 - 連結の範囲の変更を伴う
子会社株式の取得 △1,127百万円
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
 - 長期借入による収入 2,000百万円
 - 長期借入金の返済 △1,147百万円

連結子会社ビービーエフの拡大、ブランチ・アウトの
連結子会社化に伴い、各費目において増加

All Rights Reserved.

当社セグメントにおけるサービス内容別売上（2Q累計）



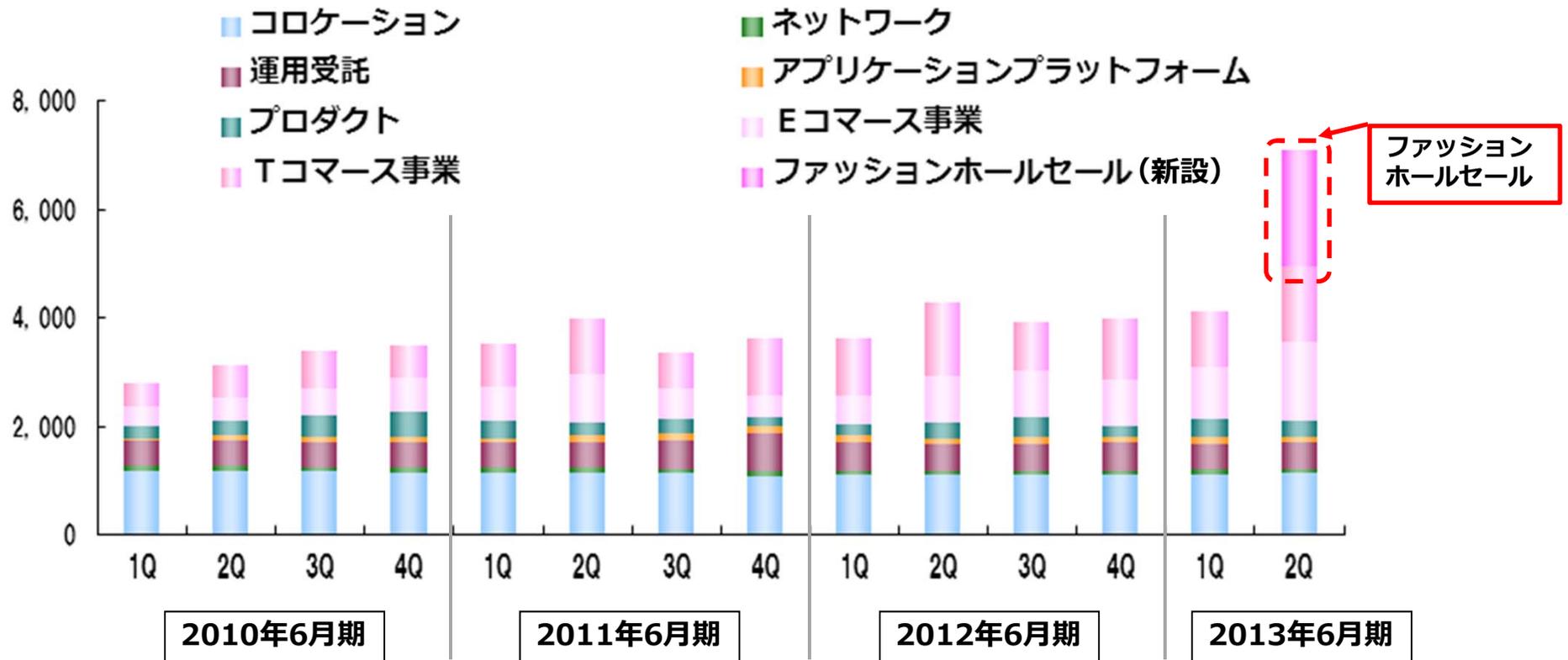
＜ファッションビジネスプラットフォーム +3,157百万円＞
 EC：増収（+1,009百万円）
 ⇒既存ブランドのサイト売上拡大及び新規ブランド獲得により、順調に増加。（直近におけるサイト数：69サイト）
 TV：微増（+22百万円）
 ⇒QVCを中心とする国内販売は引き続き拡大。しかし、海外販売（台湾）は減少。
 ファッションホールセール：新たに追加（2,125百万円）
 ⇒取引先である大手小売店に対する売上が順調に推移。

＜プロダクト +147百万円＞
 既存顧客からの受注および新規顧客の獲得により増加。

＜コロケーション +54百万円＞
 西梅田サイトの稼働率向上に伴う増加（+42百万円）
 電気料金等の見直しに伴い、当社の売上高に影響。

- ファッションビジネスプラットフォーム
 - ECシステム構築支援・運用
 - TVショッピング支援
 - ファッションホールセール（新設）
- コンピュータプラットフォーム
 - プロダクト
 - アプリケーションプラットフォーム
 - 運用受託
 - ネットワーク
 - コロケーション

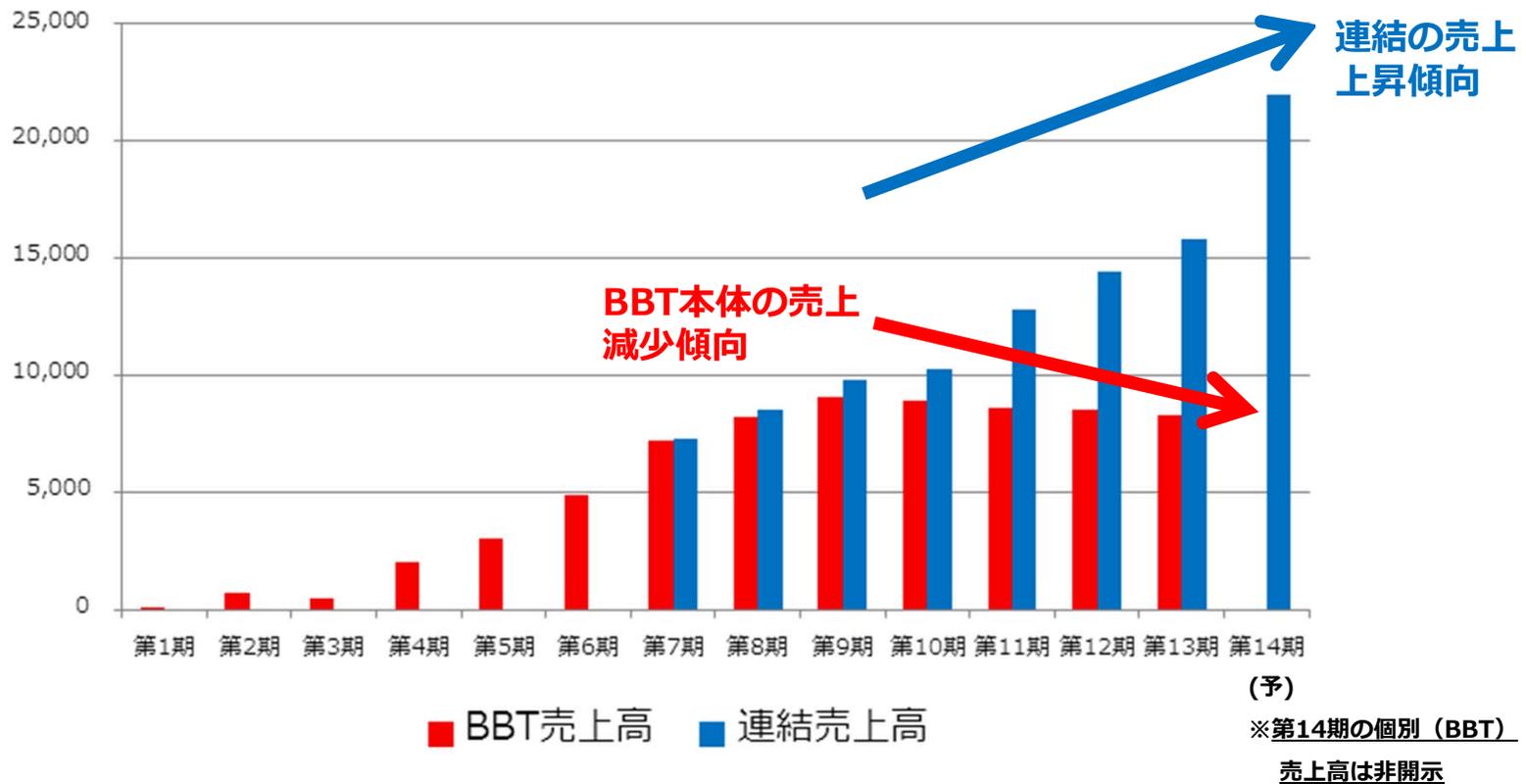
当社セグメントにおけるサービス内容別売上（四半期推移）



第2創業期の基本方針

現状の基本的認識

ブロードバンドタワー本体は、創業以来データセンターの増設と共に売上拡大するも第9期（2008年6月期）以降は増設がなく、同期をピークに売上減少傾向。その後の成長は、連結子会社（ビービーエフ、ブランチ・アウト）に依存。



第2創業期の基本方針

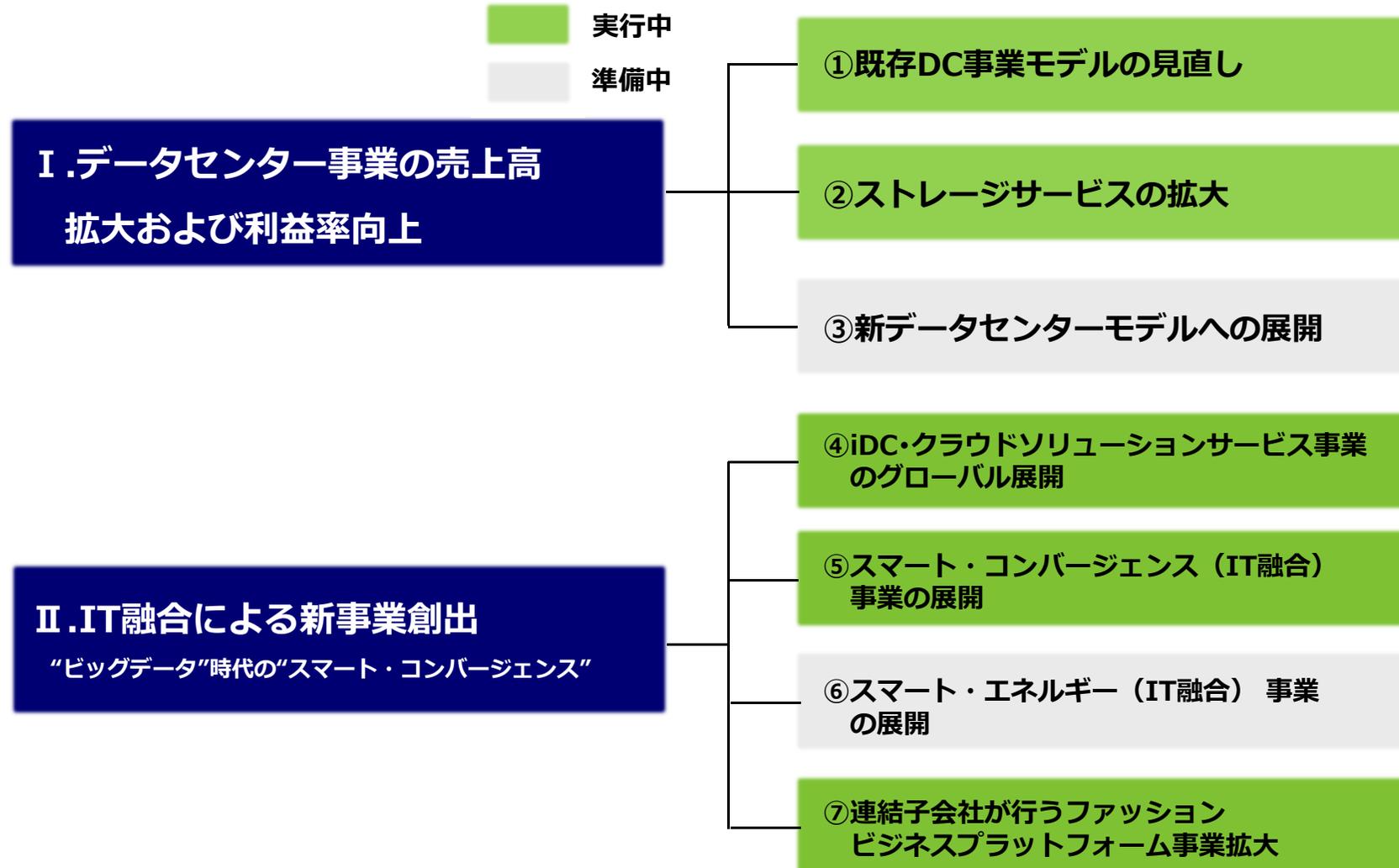
ブロードバンドタワーの歴史の中での非連続的イノベーションを振り返る

- ①2002年 4月 ブロードバンドタワーへ社名変更：Yahoo!獲得（最大ポータル）
- ②2005年 8月 株式上場と10月連結子会社ビービーエフ設立（新ビジネスモデルの実装）
- ③2012年 8月 ビービーエフが株式会社ランチ・アウト・デザイン※を100%子会社化（大型M&A）
※ランチ・アウト・デザイン及びその完全子会社である株式会社ランチ・アウトは、2012年12月に合併し、株式会社ランチ・アウト（合併後の新商号）となる。
- ④2012年 9月 株主総会を経て経営体制を一新し、「第2創業期」として新たにスタート

ブロードバンドタワーの第2創業期に求められること

⇒ **歴史に学び非連続的イノベーションを起こす！**

第2創業期の基本方針



基本方針 I による具体策

～ 現在のコア事業の構造改革 ～

① 既存DC事業モデルの見直し

データセンターの販売価格低下、電力会社による電気料金の値上げに伴う電気代増加等もあり、利益率は低下傾向にある。



1. 千代田区、品川区、目黒区、岐阜県※、西梅田に所在するデータセンターのコスト構造精査とその対応

※岐阜県のデータセンターは「運用受託」の形態

2. 新データセンターモデルへの移行準備

②ストレージサービスの拡大

1. ビッグデータビジネス・コンソーシアム設立

⇒ EMCアイシロンスケールアウトNASの国内販売代理店として、ビッグデータの処理に向けたテクノロジーの発展とユーザーニーズを把握。**産・官・学での新事業を創出**を目指す。

2. EMC² Isilonを主とするストレージソリューションの提供

3. ストレージサービス × データセンターサービス × ビッグデータ分析ソリューションの提供

③新データセンターモデルへの展開

iDC(Internet Data Center)/クラウドの融合

⇒ Google、Amazon等、米国発のパブリック・クラウドの活用

日本独自の新iDCビジネスモデルの確立

⇒ ?

基本方針Ⅱによる具体策

～ 関連新規事業の立ち上げ ～

④ iDC・クラウドソリューションサービス事業のグローバル展開

東日本大震災以降のBCP/DRニーズの高まりに加え、グローバル展開を検討している企業のインフラ構築や運用ニーズが更に高まることが予想される。

双方のニーズに応えるべく、米国ハワイ州でデータセンター事業を展開するDR Fortress, LLCと戦略的事業提携を開始。

iDC・クラウドサービス事業のグローバル展開
を積極的に推進。

顧客に最適なクラウド環境を提供し、画一的なものではなく、ニーズや業務内容に応じたシステム構築・運用までを支援。



⑤スマート・コンバージェンス（IT融合） 事業の展開

～ 医療や住宅など多様な産業とITが融合 ～

医療クラウド関連市場は2012年の約400億円から、2020年には2000億円近くに成長すると予測。（出典：シード・プランニング）

本成長分野へ進出すべく、現在、医療分野をターゲットとしたスマート・コンバージェンス事業を展開中。
今後は他分野にも展開予定。



⑥スマート・エネルギー（IT融合） 事業の展開

2011年3月の東日本大震災以降、エネルギーや都市、インフラのあり方が変わり始めた。

同時に、エネルギーがITと繋がり、私たちのライフスタイルを大きく変えるスマートエネルギー社会が誕生している。



ブロードバンドタワーでは、これまで培ってきた技術や知見がエネルギー分野にも活用できると考え、**スマートエネルギー事業への展開**を検討開始。



⑦ファッションビジネスプラットフォーム事業拡大

連結子会社ビービーエフ及びランチ・アウトは
次世代に求められる総合ファッション企業へ

アパレル業界において高い商品企画力、販促プロモーション力と技術力を有するランチ・アウトを完全子会社化。

ランチ・アウトの子会社化により、ファッション業界のバリューチェーンにおいてビービーエフが保有していない商品企画・販促プロモーション機能を補うことが可能になり、業界内の様々なプレーヤーに対して一貫した機能を提供。

**日本のファッション市場において確固たる地位を目指すとともに、
成長国を重要マーケットと捉える。**

当社 I R に関するお問い合わせ T E L : 03-5202-4813 (直)



<http://www.bbtower.co.jp/>

本資料は、2013年6月期第2四半期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2012年12月末日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証しまたは約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。